



[Ishikari]

2016
Vol. 334

JAいしかり 10・11

合併号
発行/石狩市農業協同組合



主な記事

- ニュースファイル 1
- JAグループ通信 5
- インフォメーション 7

稔りの秋、食欲の秋ですが農作業には十分に注意をしてください。
また一段と寒くなりましたので、心も体も暖かく過ごしましょう。

J A いしかり役員作況調査実施

9月9日、役員と関係職員による作況調査が実施されました。本年度の作況調査では、花畔地区に本年より新規就農された遊佐宏文さんのミニトマトの施設栽培の生産状況を視察した後、笹川努さんの水稲圃場にて乾田直播試験圃の試験状況と作況について普及センター北部支所の佐々木専門指導普及員より説明をして頂きました。

その後、現在建設中の米麦センター保管倉庫とベジタブルファクトリーにて青果物の共撰出荷状況、支援センター試験農場での取組み状況と今年度からJ Aの新規事業である「石狩漬け」の加工施設を視察するとともに、今年から本格的な栽培を行っている加工向け農産物であるサツマイモ圃場とポテトチップ用の馬鈴薯圃場を視察し、今後の当地域への作付定着化に向けた作物としての生産性や栽培状況について概要説明が行われました。来年度の事業、生産、振興作物としての期待がより一層高まった一日となりました。



笹川努さん水稲圃場にて

米麦乾燥施設絶賛稼働中

7月の秋小麦の受け入れから始まった米麦乾燥調製施設の稼働もあと少しとなりました。

小麦については7月中旬より受入を開始し、刈り取り中盤の雨により小麦の品質低下が心配されましたが、秋小麦3078t春小麦802t全量1等にて検査合格し、昨年について過去2番目の製品出来高となりました。本年度より早期出荷や受入時間の変更など組合員の皆様にはご協力を頂き誠にありがとうございます。



米は9月下旬より受入を開始致しましたが、天候不順でなかなか刈り取りが進みませんでした。10月中旬にはほぼ受入を終了いたしました。品質・収量ともに茎数不足が影響してか前年よりは高タンパクとなり、若干の収量の減少が見られますが製品出来高4万3千俵を目標に現在作業を行っております。



年金友の会パークゴルフ大会開催

9月30日、石狩市樽川の「いしかりパークゴルフ場」にて会員11名が参加のもと、年金友の会パークゴルフ大会が開催されました。

当日は秋晴れの下、日頃からプレーしている方や久しぶりにプレーする方など様々でしたが、皆さん笑顔で気持ち良い汗をかいてプレーをされていました。

熱戦が繰り広げられた結果、1位に中田守さん、2位に山口政春さん、3位に小川美智子さんでした。

今年度はご都合が合わず、参加人数が少なかったのですが、来年

はたくさんの方のご参加を頂きますようお待ちしております。

尚、年金友の会では新会員を随時募集しております。

年金をこれから受給される方や当JA口座に指定替えされた方は、是非、入会されてまして旅行やパークゴルフ大会などで親睦を深めましょう。ご希望の方は本支店金融窓口までお問い合わせ下さい。



プレーを楽しむ伊東和子さん



中村組合長より1位の中田守さんへ記念品の授与



秋晴れでパークゴルフを思う存分楽しみました

資産運用部会視察研修会開催

資産運用部会視察研修会が10月13

日、14日に会員18名参加の下、開催されました。初めに、新港のホクレンパールライス工場を見学した後、小樽市にあるニトリ小樽芸術村を訪問し、昼食後ニセコムルク工房・旧大滝村の三段滝・きのこ王国に立ち寄り、宿泊先の緑の風リゾート（北湯沢）に無事到着しました。

夕食を兼ねた懇親会では、荃津理事長の挨拶、来賓であるJA大江信用担当理事兼花畔支店長の祝辞、系統ハウスメーカー及びホクレンより挨拶をいただき、吉田副理事長の乾杯で始まり、参加者一



同和気あいあいとした懇親会となりました。

2日目は、苫小牧市の大和ハウス賃貸住宅分譲地を視察し、昼食後、千歳市の岩塚製菓直売所にて買い物満喫した後、災害の疑似体験ができる千歳防災センター「そなえる」を訪問し、地震体験コーナーにて過去に起きた8種類の大地震の揺れを実際に体験するなど防災に対する学習をし、2日間の視察研修を無事に終了し帰路につきました。



荃津理事長の挨拶

石狩市市制イベント にて表彰受賞

10月1日、花川北コミュニティセンターにおいて1996年9月1日に石狩町が道内で34番目の市となつてから今年で20周年を迎えた事を祝う「市制施行20周年記念文化イベント」（市主催）が盛大に開かれました。石狩市民約400人が出席したイベントでは、新鮮で安心な石狩野菜のファンで賑わう「地物市場とれのさと」を開設するなど農業を取り巻く厳しい環境に立ち向かい果敢に挑戦する姿勢は石狩の農業に希望と可能性を示し多大なる貢献をしたということで当JAが石狩市より表彰を受けました。



JA青年部 さつまいも焼酎「芋男氣」発売

JA青年部が振興作物事業として平成23年度より作付けしている「さつまいも」を原料にした芋焼酎がJAいしかり地物市場とれのさとで10月15日販売開始しました。

米麴に石狩産のななつぼしを使い、さつまいもは「黄金千貫」を使用しています。

ネーミングは青年部が芋焼酎を酌み交わしながら農業談義をしている様子を思い浮かべ、又、青年部の男気が感じられるようにという思いで「芋男氣」と名付けられ、焼酎のラベルには田岡石狩市長に揮毫していただきました。

「私たちが作った石狩産の原料を使った焼酎ですので、すぐく思い入れがあります。たくさんの人に飲んで頂いて石狩の農業を応援してほしいですね。」と増田青年部長。



芋男氣について説明する増田青年部長

ほんのり甘い香りが広がるくせのないすっきりとした飲み口の焼酎は720mlで1,836円（税込）で販売されています。

1本からご注文を取りまとめをしておりますのでご購入希望の方は11月18日までに営農課までご連絡ください。お届けは11月28日以降になります。

JA青年部 ドローン試験飛行行っ

9月6日、JA青年部主催による無人機「ドローン」を使つての農薬散布のデモンストレーションを行いました。

最近では栽培管理や担い手不足対策として農薬散布などで小回りが利く無人機「ドローン」の活用に関心が高まっており、この度（株）コハタさんのご協力を頂き、会議室でドローンについての説明のあと、支援センターのさつまいもの試験圃場にてデモフライト飛行が行われました。

参加された皆さんは担当者に最新の情報に耳を傾けていました。



「ドローン」の安定飛行の様子

「米麦乾燥調製施設「保管倉庫」
竣工修祓式の実施」

本年6月より建設を進めていた米麦乾燥調製施設の保管倉庫の修祓式が、JA役員並びに来賓・工事関係者30名の出席のもと10月21日に実施されました。

当日の式典は、石狩八幡神社の花田宮司様による修祓の神事が執り行われたのち、施主である中村代表理事組合長より保管倉庫が無事竣工したことに對するお礼と今後の保管倉庫の有効利用について挨拶がなされ、来賓を代表し田岡石狩市長からのご祝辞を頂き無事に終了致しました。

今回、建設された保管倉庫により、米麦乾燥調製施設の仮保管・貯蔵収容力が向上し、より効率的な運営が出来る事となりました。次年度の施設稼働に向けては保管倉庫の有効利用を図り、よりの確な乾燥・調製作業を行ってまいります。



米麦乾燥調製施設にて竣工修祓式の様子

グリーンサポーター事業

最低賃金の改正に伴うパート賃金の一部変更および
マイナンバー制度についてお知らせ

平成28年10月1日より北海道の最低賃金がこれまでの時間額**764**円から**786**円に改正されることから、先般利用者協議会を開催し期間途中ではございますが、下記の通り一部基本時給単価を変更することと致しましたので御連絡申し上げます。

また、28年度からマイナンバー制度の導入により、年末に皆様が入力する源泉徴収票にマイナンバーの記載が必要になりました。

パート等を28年中に雇った方はマイナンバーが必要となりますので収集方法などご不明な点がございましたら営農課までご相談ください。

作業内容	現行時給	改正後時給
<ul style="list-style-type: none"> 収穫作業（軽量野菜・機械収穫） 管理作業（防除、選果等） 	765 円	790 円
<ul style="list-style-type: none"> 収穫作業（重量野菜）大根、馬鈴薯 水稻共同防除 南瓜等 	815 円	840 円

※ また、8時間を超える作業の場合、それぞれ改正後の時給に210円を加算した時給になります。
 ※ 平成28年10月1日以降作業分より改正後時給と致します。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

JA北海道中央会

7月に公開したスマートフォンアプリ「JA
AMP」のダウンロード数が5000件を
突破しました。

JAが登録するチエックインスポットの数は
約1200件。地域によつては地元食材を
使う飲食店を登録するなど、工夫を凝らして
おります。

北海道の農畜産物が当たるプレゼントキャ
ンペーンも実施中。チエ
ックインスポットを回つ
て集めたポイントを利用
してぜひご応募くださ
い！詳細はアプリ内お知
らせに記載しております。

※第1弾の応募期間は年
内12月31日までです。



JA北海道信連

度重なる台風の上陸・接近により道内各地
で甚大な農業被害が発生し、8月16日から9
月1日の期間の災害が激甚災害に指定されま
した。

北海道農業信用基金協会と協調のうえ災害
復旧および再生産に向けて、農業者への資金
供給に取り組みこととし、今般の農業災害に
対応するJA農業経営緊急支援資金の本年度
貸付分について、①貸出条件の拡充、②借入
れ利息の5年間無利子化、③保証料負担の軽
減を実施します。



ホクレン

皆様へ感謝の気持ちを込め「ホクレンパ
ルライス ファン感謝祭2016」を石狩市
のホクレンパールライス工場で開催。「ごち
そう新米ふるまいコーナー」や、「米俵1俵
争奪 大ジャンケン太
会」など、多彩なイベ
ントで来場者に楽しん
でいただきました。

入場料は全額を石狩
市に寄付、子育て支援
や幼児教育等次世代育
成事業などに活用され
ます。



JA共済連北海道

10月よりJA自動車共済加入
者向けスマホアプリ「JA共済
くるまのミカタ」が新登場。

緊急時にGPS機能による
レッカー・ロードサービスの要
請（※）やトラブル時の画像送
信も可能になります。

位置情報が確認可能なので、事故受付も
スムーズに。詳しくは、「くるまのミカタ」
で検索をお願いします。

（※）交通事情、気象状況
等やご利用の地域により一
部サービスの提供が出来な
い場合があります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健
康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推
進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」
を発行しております。年3回発行しており、
様々な医療・健康情報を発信しております。
ホームページにバックナンバーを掲載して
おります。是非ご一読ください。





農協法公布記念日にあたっての組合員・ 役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が制定され、今年で69年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

言うまでもなく、農協法は農協の組織・事業を運営する基本法として極めて重要な役割を担っておりますが、農協法公布記念日を契機に、組合員・役職員の皆様と改めて協同組合の原点に立ち返り、その意義と役割についての共通認識を深めたいと考えます。

まず、協同組合の経済的意義ですが、新自由主義経済の考え方が浸透していく中、東京大学大学院の鈴木宣弘教授が指摘された「今だけ、金だけ、自分だけ」という傾向が最近強まってきたように思われます。

このような自分一人の利益を追求するところに協同の目的はありませんが、では協同組合の中に個人の立場、自分一人の利益はないかといえば、決してそのようなことはなく、皆の利益、協同の利益のために尽くすことが、自分の利益に還ってくる、これが協同活動の経済原理であります。

つまり協同活動に参画することで、組合員であれば等しく協同の利益に預かることができ、他人を押しつけてでも自分だけの特別の利益を得ようとするような理不尽な欲望は協同組合は満たしてくれないということです。協同組合は私欲を満たす組織ではありません。自分だけの利益指向という非協同の新自由主義経済には、一面自分だけの不利や損害はあり得るのですが、協同組合にはそのようなリスクを回避あるいは分担できる安全保障機能のあることを再認識すべきと考えます。

つぎに協同組合の社会的意義としては、協同の力で共存同栄の理想社会を築き上げて行くところにあります。社会が悪い、経済の仕組みが悪いと嘆くだけでは通用しない組織です。むしろ私たちの協同活動で、その悪い社会や経済の仕組みを改良して行くのだ、という理想感、責任感に燃えて、『万人は一人のために一人は万人のために』全力を尽くして行くのでなければならぬと考えます。

つまり、協同組合の目指すところは、安全かつ平和な公正社会の実現です。しかし、そのような理想を実現するには、協同の利益とその公平な分配に満足する心の改革が伴わなければなりません。協同組合学習とはそうした心の改革をするための研鑽と修業することに外ならないのです。

組合員の皆様には日常の営農と生活の協同活動および協同組合学習を通じ、協同組合の経済的社会的意義と組合員の役割について今一度熟考して頂ければ有難いと思います。協同組合の組合員であることに誇りと自負が持てる組合員でありたいものです。

役職員の皆様は、協同組合運動の率先垂範者として、誰よりもJAの運営原則である協同組合理念について正しい理解と深い洞察がなければならないと考えます。

協同組合を深く理解する近道は、農協の歴史を知ることです。農協には先人が編纂して頂いた記念誌があると思います。入植の歴史、冷災害との格闘の歴史、経営危機あるいは成功、目覚ましい成果等、現代の私たちが知ることができない史実が記述されております。そのような危機等を先人はどのようにして乗り越えて来たのか、我が農協の歴史が全て教えてくれます。

役職員の皆様には何よりもまず歴史を学ぶことの重要性を認識して頂き、協同組合の価値を伝える語り部となって頂きたいと思います。

新自由主義経済への対抗軸としての協同組合の価値を広く道民に発信し続け、理解と共感を得ることが、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに協同組合の基盤をさらに発展させ、後世にしっかりと引き継がれ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、未曾有の台風災害を被り、復旧は始まったばかりであります。今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業と農協の発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

組合員資格確認のお願い

当JA定款により、組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくことになっております。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA企画総務部・総務課へお申し出いただきますようお願い致します。

当組合の組合員資格

(組合員の資格)

定款第11条 この組合の組合員は、正組合員及び准組合員とする。

正組合員資格

- (1) 10アール以上の土地を耕作又は300平方メートル以上の温室（ビニールハウスを含む）を経営する農民で、その耕作する土地又は温室若しくは住所がこの組合の地区内にあるもの。
- (2) 1年のうち90日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの。
- (3) 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの。

准組合員資格

- (1) この組合の地区内に住所を有する個人でこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。
- (2) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続してうけているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。
- (3) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続してうけているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。

※当組合の地区は、石狩市一円（浜益区・厚田区（聚富川右岸地区を除く）を除く）
札幌市一円及び当別町字高岡の区域とする。

企画総務部インフォメーション

2トン貨物の売却について

●トヨタ ダイナ（平成8年車）

●走行距離 83,000km（H.28.10現在）

●車検満了日 平成29年5月29日

●スタッドレスタイヤ有り（後輪は、シングルです。）



JA希望価格 200,000 円

上記内容で、希望する方は、総務課までご連絡下さい。（TEL 0133-66-3321）
尚、希望者多数の場合は、抽選と致します。

現状販売となりますので、現車確認をお願いします。

理事会だより

第8回定例理事会 ～9月16日～

◆ 報告事項 ◆

- ① 建設委員会報告
- ② 農産物出荷状況等について
- ③ 経営定期点検実施報告(半期)について
- ④ 正職員の採用について
- ⑤ 平成28年度産地交付金の配分方法について
- ⑥ 平成29年度新採用職員の状況について
- ⑦ 寒冷地手当の支給について

◆ 審議事項 ◆

- ① 第2四半期自治監査結果について
- ② 米麦倉庫建設に係る資金借入について
- ③ 固定資産の取得・処分について
- ④ ディスクロイジャー誌(半期)の開示について
- ⑤ 文書管理規程の一部変更について
- ⑥ コンプライアンス・マニュアルの一部変更について

◆ 協議事項 ◆

- ① 地区別懇談会の開催について

第9回定例理事会 ～10月28日～

◆ 報告事項 ◆

- ① 管理金融委員会報告
- ② 農産物出荷状況等について
- ③ 内部審査結果報告について
- ④ 平成29年度新規採用の内定について
- ⑤ 平成28年度共済コンプライアンス点検実施報告について
- ⑥ 地区別懇談会の日程について
- ⑦ 新穀感謝祭の開催について
- ⑧ 4地区合同JA理事研修会の開催について
- ⑨ 1日ホクレンの開催について
- ⑩ 石狩産業経済功労賞について
- ⑪ 石狩市市制施行20周年記念表彰について
- ⑫ 年末年始の営業について
- ⑬ 農業委員会総会について

◆ 審議事項 ◆

- ① 平成28年度 農地評価基準の設定について
- ② 農業者信用力評価基準の導入について
- ③ 米穀事業改革推進会議(仮称)の設置について
- ④ 出資金の減口について
- ⑤ 規程・要領の新設と一部変更について
- ⑥ 固定資産の取得について

9月のあゆみ

7日 石狩地区米対策委員会

8日 石狩市農業委員会作況調査

9日 JAIいしかり役員作況調査

13日 経営会議

内部審査(資材・燃料自動車・直売所)～15日

14日 企画会議

年金相談会(花畔支店)

16日 定例理事会

20日 巡回ドック(花畔支店)

26日 直売所出荷者協議会視察研修

30日 年金友の会パークゴルフ大会

10月のあゆみ

4日 健康保険組合理事会

5日 石狩市防火協会視察研修

13日 内部審査(金融共済課)～14日

資産運用部会視察～14日

20日 管理金融委員会

21日 米麦センター保管倉庫修祓式

25日 経営会議

26日 企画会議

28日 定例理事会

訃報

大曲 横山 正三 享年80歳 平成28年10月2日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

石狩管内5JA合同 自動車フェア

【開催日程・場所】 ホクレンオート札幌
11/12(土)・11/13(日)
開催時間(両日とも) 午前10時～午後18時
北広島市輪厚中央4丁目10-6 ☎011-807-0493

特選中古車50台集結!!

営農車コーナーも充実!! 未使用車から中古車まで多数展示!!

付属品をプレゼント!!



※写真はイメージです

- ①フロアマット
- ②スノーブレード
- ③リヤゲートチェーン
- ④スタッドレスタイヤ
- ⑤スチールホイール

ご来場者記念品プレゼント!!

ホクレンオート札幌の在庫については、
各JA自動車窓口で取扱できます!!



アルーダ感謝フェア予告

アルーダ道央 ☎011-376-2569
10月20日(木)開催

たくさんのご来場
心からお待ちしております!

JAグループ×スズキ 限定企画!!

スズキ新車早期予約キャンペーン

年内予約取りまとめ実施!! (11月より)



新車のスズキキャリートラックを
年内予約された組合員様限定!!
付属品8点プレゼント(6万円相当)



荷台フロアマット フロアマット スノーブレード + スタッドレスタイヤ
ドアバイザー アッパーメンバーガード リヤゲートチェーン ホクレンブランド エンジンオイル(4L)

「JA軽・乗用プラン」

年内予約でオプション1点プレゼント



詳しくはJA自動車担当窓口まで!

主催: (株)ホクレン油機サービス・ホクレン札幌支所
協賛: 札幌市農業協同組合・道央農業協同組合・新篠津農業協同組合・北石狩農業協同組合・石狩農業協同組合

本紙の掲載内容と実際の展示内容が異なる場合がございますのでご了承願います。

新 規 就 農 者 情 報

宮本 祐太郎さん

○プロフィール	出身地	札幌市中央区
	就農前の職業	大学生
	就農地区と就農年数	石狩市生振 1年5ヶ月程

Q

就農に至った理由は？

両親が行っていた家庭菜園を学生の頃より作業と一緒に手伝っている内、自分で農業を行ってみたいという気持ちになり決意しました。

Q

栽培作物は？

とうもろこし 3.5アール
 さつまいも 1.0アール
 その他施設野菜 6.5アール

とれのさと（直売所）主体に出荷しています。



Q

就農してみたの現在の感想は？

農地が砂地で小肥力のため、作物が思いどおりに育たない場合が多いので堆肥等を入れ土づくりを充実していきます。

Q

将来の目標や予定は？

土作りを行いながら収量を上げていくことが目標です。
 将来的にはさつまいもなどの加工による6次産業化を行っていきたい。



新 規 就 農 者 情 報

堀 田 一 男 さん

○プロフィール	出 身 地	石狩市美登位
	就 農 前 の 職 業	農業関連の作業受託
	就農地区と就農年数	美登位地区 6ヶ月程

Q

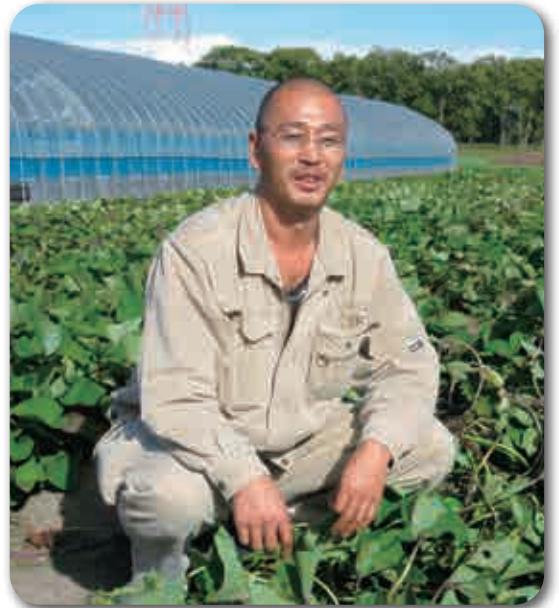
就農に至った理由は？

以前は、主に農業に関連する作業受託（米麦乾燥施設作業・麦刈取り作業等）を行っていました。そのような中、父親が高齢となったため実家の農地を引き継ぎ新規一転、気持ちも新たに農業経営を行うことになりました。

Q

栽培作物は？

牧 草	347.7アール
ブロッコリー	70.5アール
さつまいも	0.5アール
大 根	0.5アール
ア ス パ ラ	0.5アール
直売野菜(ハウス)	0.3アール



Q

就農してみた現在の感想は？

就農後まだ経験も浅いためか、自分の考えている作物の収穫が天候に左右され、遅れたり収穫が出来なかったりと思ったよりリスクが多いこと。

Q

将来の目標や予定は？

野菜の作付けを増やして【特に施設栽培などを取り入れ】、経営の安定を目指していきたい。

